

5月25日 岸本聡子区長と歩きました

本日10時～12時、区役所から尾崎橋まで、133号線計画地を区長・区職員と住民が歩きました。道々、計画地にかかる住民の方が思いを切々と語りました。

何代にもわたり住み続けてこられた方、終の住処として大切に住まいの手入れをしてこられた方、庭の樹木を我が身のように大切にしている方、杉並の環境に憧れて越して来られて突然道路計画を知り愕然とした方、計画地に建つ診療所の先生、133号線が通ると壊されてしまう成田東の魂のふるさとである庚申塚のお世話をしている方、等々、岸本区長さんは熱心にお聞きになり、住民の思いを汲み取った質問とコメントを繰り返されました。

杉並区保護樹林のあけぼの杉のあるお宅のMさんは、用意の原稿を読み上げ、樹木の大切さ、隣に広がる善福寺川緑地をはじめとする杉並の緑豊かな自然に悼る133号線の道路計画について考えなおすよう訴えました。

予定通り12時前に尾崎橋たもとで、岸本区長さんの「区民のために全力を尽くして対話の輪を広げてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします」という力強い言葉を締めくくりに、歩く会は終わりました。

133号線計画廃止に向けて、一層力を傾けていきたいと、参加者一同気持ちを新たにしました。

都市計画道路補助133号線に反対する会 丸山

